

# P-PROMOTE 運営体制

## AMED・医薬品PJ (疾患領域がん)

PS 宮園 浩平 先生  
理化学研究所/東京大学

研究領域A PO  
佐谷 秀行 先生 藤田医科大学  
岡崎 寛 先生 理化学研究所

研究領域B PO  
大島 正伸 先生 金沢大学  
仁平 新一 先生 オンコロジー学術  
研究フォーラム

研究領域C PO  
間野 博行 先生 国立がん研究センター  
玉田 耕治 先生 山口大学

研究領域D PO  
高橋 雅英 先生 藤田医科大学  
矢野 聖二 先生 金沢大学

研究領域E PO  
中釜 齊 先生 国立がん研究センター  
谷川 千津 先生 東京大学

### 研究推進サポート機関

・分子標的候補の  
検証のための技術  
支援

・標的のケミカル  
バイオリジー評価  
のための技術支  
援

・創薬シーズ化合  
物の薬効評価のた  
めの技術支援

・最適化・合成展開  
のための技術支援

・抗体及び機能阻  
害ペプチド作製の  
ための技術支援

・がん治療薬の動  
態イメージング・  
DDS化のための技  
術支援

・単一細胞・オルガ  
ノイドの調製及び  
各種解析のための  
技術支援

・バイオリソースを活  
用した支援

・研究進捗  
整理

・知的財産  
コンサル  
テーション

・研究倫理  
コンサル  
テーション

・その他の  
サポート

### A. 治療ターゲット

がんの発症・進展に関わる分子相互作用やシグナル及びがん細胞の特性に着目した新規治療法の研究

- がん関連タンパク質の相互作用を標的とした治療法の開発
- がんのエピジェネティクス・転写制御・翻訳制御を標的とした治療法の開発
- 細胞周期異常・染色体構造異常などがん細胞の特性を標的とした治療法の開発
- がんの代謝特性を標的にした治療法の開発
- がんの細胞死誘導機構を利用した治療法の開発
- 支持療法の開発を目指した腫瘍随伴症候群の原因の解明と治療法の開発

### B. 異分野融合システム

がん生物学と異分野先端領域の融合、および新規モダリティ探索による創薬プラットフォーム構築によるがん根治療法の研究

- がん細胞とがん微小環境・がん間質との相互作用の理解に基づく新規治療法の開発
- 異分野先端技術によるがん生物学の本質的理解と治療法の開発
- 新規DDSや放射線治療（セラノスティクスを含む）を含む先端的創薬技術開発を応用した治療法の開発
- 希少がん、難治がんを対象とした新規技術開発の応用による治療法の開発

### C. 免疫システム創薬

体内のがん細胞を取り巻く環境制御と免疫応答効率化への革新的・基盤的治療法の研究

- がん細胞の特性と免疫担当細胞の空間的相互作用の理解に基づく治療法・患者層別法の開発研究
- 新たな免疫治療標的分子の研究
- 有効な新規細胞療法の研究
- 免疫療法不応性がんの特性の理解と、感受性増強戦略の研究

### D. 診断/バイオマーカー

患者に低侵襲な高感度・高精度ながん診断法の研究

- がんの易罹患性・早期診断・再発予測バイオマーカーの開発
- 抗悪性腫瘍薬等の効果または副作用予測の診断法の開発
- 血中循環腫瘍細胞等の捕捉と解析によるがん診断法の開発
- がんの分子病態解明と分子イメージング技術を融合したがん診断法の開発

### E. がん多様性

がん細胞の不均一性等に対応した革新的がん治療法の研究

- がん細胞の不均一性の理解に基づく転移・再発・治療抵抗性がんの治療標的の研究
- がん細胞と微小環境の相互作用の分子基盤に基づく新たな治療標的の研究
- クローン進化の理解によるがんの早期診断・治療、及び発症の回避・遅延に関する研究
- がんのクローン進化原理に関する研究
- 家族性がんの原因及び発症機構の研究

研究課題

実用化（市販・医療現場への普及など）